

大好き☆出雲!

「日本の心のふるさと出雲」を 応援していただける方を ご紹介ください



あなたと出雲の
ご縁を結ぶ。

ふるさと寄附のお願い

「ふるさと納税制度」により、出雲市出身の方や出雲市に心を寄せいただく全国の方々から、広く寄附を募り、「日本の心のふるさと出雲」応援基金に積み立て、皆さまの思いにより、観光や産業、福祉、教育、環境など幅広い分野の事業に活用させていただいています。

ご家族、ご友人などに、広くこの制度をPRしていただきますとともに、ふるさと出雲を応援（ご寄附）していただける方を、ぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

寄附金を活用する事業



幼稚園の図書整備にも活用しています。

- * 歴史文化資源の保存・活用や出雲の魅力の全国発信など観光振興に資する事業
- * 高齢者の「人生100年・生涯健康」に資する事業
- * 産業・福祉・教育・環境などの充実発展に資する事業
- * その他市長が特に認める事業

ふるさと納税とは

「ふるさと納税」とは、出身地などの自治体に寄附を行った場合に、確定申告により、所得税・個人住民税から2千円を超える額の一定限度額まで控除（減額）される制度です。

ご寄附をいただいた方への特典

- * 市外在住で1万円以上の寄附をしていただいた方に、出雲市の特産品（送料込5千円相当）を進呈します。
- * 市内49宿泊施設の協力により、宿泊料金の割引や特産品の提供などの特典がある「特典つき宿泊施設パスポート」をお送りします。



寄附の申込方法など詳しくは、市ホームページ [ふるさと出雲応援寄附](#) [検索](#) にも掲載しています。

出雲医療看護専門学校が竣工

平成25年4月開校予定

設置予定学科 看護学科、理学療法士学科、臨床工学技士学科、言語聴覚士学科



完成した出雲医療看護専門学校（今市町）

6月9日、出雲医療看護専門学校（認可申請中）の竣工式が、関係者約130人の出席により盛大に行われました。

出雲医療看護専門学校（認可申請中）は、医療のスペシャリストを養成するため市が誘致を進め、学校法人大阪滋慶学園（浮舟邦彦理事長）によって運営される学校です。

看護学科（80名）、理学療法士学科（40名）、臨床工学技士学科（40名）、言語聴覚士学科（40名）の4学科（いずれも3年制）が設けられる予定です（総定員600名）。

多くの学生が入学し、医療、保健、福祉分野において活躍する優れた人材が育ち、地域に愛される学校になることを期待しています。



竣工を祝ってのテープカット

現在、学校説明会、オープンキャンパスが開催されています。詳しくは、学校（☎0120-868-123）におたずねください。

おたずね／政策企画課 ☎21-6614



「奥出雲おろち号」マスコットキャラクター「おろち」

夏休みはトロッコ列車で奥出雲の旅へ出発!!



JR 出雲市駅を出発するトロッコ列車

せっかくの夏休み、「奥出雲おろち号」で、自然の風、セミしぐれを思いっきり満喫するゆったりプランはいかがでしょうか。

折り返し点に近いJR出雲坂根駅付近の急斜面では、国内有数の3段式スイッチバック方式の線路が敷設されており、鉄道ファンならずとも一度は乗ってみたい名所になっています。

【運行情報】

列車（定員64名）は、毎週金・土・日曜日に、JR木次線の木次駅から備後落合駅までを1日1往復します（片道運転時間は、2時間余りです）。日曜日や、夏休み期間の土曜日は、発車駅がJR出雲市駅となります。（復路は、木次駅での普通列車乗り換えとなります。）座席指定で予約が必要です。（雨天時は、窓付きの控え車両に乗り換えます。）

切符のご予約は、JR出雲市駅（みどりの窓口 ☎21-1118）まで。

【出雲の国・斐伊川サミットについて】

斐伊川・神戸川流域の2市2町（出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町）は、平成19年11月に「出雲の国・斐伊川サミット」を立ち上げ、観光、歴史、芸術文化など様々な分野で交流、連携を図り、圏域の活力を創出する共同事業を実施しています。トロッコ列車「奥出雲オロチ号」は、圏域の観光振興の軸としてPRに力を入れています。

おたずね／出雲ブランド室 ☎21-6274